

科目名 Course Name	介護の基本V Fundamentals of care V			ナンバリング No.	J4-001		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	片桐 幸司						
連絡方法	C-Learning に対応。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>介護を必要とする人の生活を支えるしくみを学習する。また、介護従事者の健康問題や労働環境、利用者を支える多職種の機能と役割、連携方法、地域における資源と連携の必要性も学ぶ。</p> <p>①介護を必要とする人の生活を支えるしくみが具体的に説明できるようにする。 ②介護サービス提供上の「リスク」とそのマネジメントについて説明できるようにする。 ③多職種連携・協働とはどのようなことかを具体的に説明できるようにする。 ④介護従事者のこころと身体健康障害を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義中心であるが、サービスの概要については、分担して各自調べた内容を発表することで知識の共有を図る。また、多職種および地域連携が必要となる事例を用いて、ロールプレイやグループディスカッションを行う。						
学習成果	L01						
	L02	介護サービスの概要や特性および介護サービスの利用プロセスをふまえて、利用者の状態や生活状況に適したサービスを選択することができる。					
	L03						
	L04	ケアマネジメントの技術とケアプラン作成の知識を習得し、利用者に必要な多職種および地域との連携の内容や方法を、利用者及び家族への支援に活かすことができる。					
課題に対するフィードバック	レポート・調査報告書はコメント記入・評価後学生に返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	講義・演習ともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験	<p>実務経験(職種:障害者支援施設生活支援員(身体・知的) 職歴6年)</p> <p>実務経験(職種:特別養護老人ホーム介護職員 職歴10年)</p> <p>実務経験(職種:特別養護老人ホーム施設長 職歴7年)</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、不明な点は質問すること。ロールプレイやグループディスカッションに積極的に参加し、他者の意見を聴き自分の意見を述べること。		10		
レポート/作品	ロールプレイの振り返りレポートを課す。S 評価は、それぞれの立場からよい点と修正点、留意する点に関する学びが記述されていること。		10		
発表	①サービス調べ、②ロールプレイの内容で評価する。原稿を読むだけでなく、適切な声で発表でき、質問に的確に答えていること。				30
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。				30
その他調査報告書	担当したサービスについて調べて発表する。S 評価の報告書は内容が正しく、利用者等に説明することを考え、わかりやすくまとめていること。				20
合計			20		80

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、到達目標と学習成果、評価方法等の説明) 介護を必要とする方々の介護原因を再確認する。
	事前・事後学習	介護が必要になる原因を自分なりに考え、ノートにまとめておく。
2	授業内容	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ① 利用者の生活を支えるしくみ・・・地域包括ケアシステムの基本的理解
	事前・事後学習	テキスト p48～p50 を読み、「地域包括ケアシステム」について確認しておく。
3	授業内容	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ② 生活を支えるフォーマルサービス(社会的サービス)について
	事前・事後学習	テキスト p51～p61 を読み、フォーマルサービスについて確認しておく。
4	授業内容	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ③ 生活を支えるインフォーマルサービス(私的サービス)について
	事前・事後学習	テキスト p51～p61 を読み、インフォーマルサービスについて確認しておく。
5	授業内容	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ④ 地域連携 地域連携の意義と意味 地域連携にかかわる機関の理解
	事前・事後学習	テキスト p71～p85 を読み、地域で活動する福祉専門職とその役割を確認しておく。
6	授業内容	介護における安全の確保とリスクマネジメント① 介護における安全の確保 セーフティマネジメント 組織風土 安全な暮らし
	事前・事後学習	テキスト p88～p91 を読み、セーフティマネジメントの意味を確認しておく。
7	授業内容	介護における安全の確保とリスクマネジメント② リスクマネジメント 福祉サービスに求められる安全性【ワークシート配布】
	事前・事後学習	テキスト p92～p117 を読み、尊厳ある暮らしに必要なものは何かを確認しておく。
8	授業内容	介護における安全の確保とリスクマネジメント③ 身の回りにある「リスク」を確認する【ワークシート作成・提出】
	事前・事後学習	ワークシートを確認しておき、身の回りにある「リスク」をノートにピックアップしておく。
9	授業内容	協働する多職種の機能と役割① 多職種連携・協働について 多職種連携と協働のちがひ 多職種連携・協働の必要性 連携・協働を阻むもの
	事前・事後学習	テキスト p146～p156 を読み、連携・協働に関するイメージをノートにまとめておく。
10	授業内容	協働する多職種の機能と役割② 多職種連携・協働に求められる基本的な能力 多職種連携・協働に必要とされる知識と技術(コミュニケーション能力) 保健・福祉・医療専門職の役割と機能
	事前・事後学習	テキスト p158～p189 を読み、連携・協働に求められる能力をノートにまとめておく。
11	授業内容	協働する多職種の機能と役割③ 多職種連携・協働の実際 多職種における地域での連携・協働 特別養護老人ホームの連携の実際
	事前・事後学習	テキスト p190～p205 を読み、連携・協働に求められる能力をノートにまとめておく。
12	授業内容	介護従事者の安全① 健康管理の意義と目的 働く人の健康や生活を守る法制度 介護従事者の健康問題と健康管理
	事前・事後学習	テキスト p208～p221 を読み、就労した自身を保護する労働関係法に触れておくこと。
13	授業内容	介護従事者の安全② こころの健康管理 ストレスとこころの健康 介護従事者のこころ の健康問題 こころの病気 グループワークを通じてストレスとの向き合い方を考察。
	事前・事後学習	テキスト p222～p237 を読み、自身のストレスとストレス回避方法をノートにまとめておく。
14	授業内容	介護従事者の安全③ 身体の健康管理 介護従事者の身体の健康障害の現状 腰痛予防のための注意点 腰痛予防に関する動画視聴
	事前・事後学習	テキスト p239～p255 を読み、介護従事者に起きやすい健康障害を確認する。
15	授業内容	労働環境の整備 労働環境にかかわる労働条件 労働災害 熱中症予防
	事前・事後学習	テキスト p256～p271 を読み、労働環境にかかわる労働上の災害について確認する。